

書名	纏向学からの発信		著者名	編集／桜井市纏向学研究センター			
出版社	大和書房	ISBN	978-4-479-84084-8	本体価格	¥5,800	発売	2023/3/4
内容	謎を秘めた纏向遺跡研究の最新成果 邪馬台国、卑弥呼、ヤマト政権と深く関わる「纏向(まきむく)遺跡」研究の最新成果を、各分野の第一人者14名が解説し、寺沢薫との対談でより明解に解き明かす。						

書名	卑弥呼とヤマト王権		著者名	寺沢薫／著			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-110135-8	本体価格	¥2,600	発売	2023/3/8
内容	卑弥呼はヤマト王権の初代大王、その王都は奈良盆地東南部の纏向(まきむく)にあった！ 盟主不在の「倭国乱」ののち、3世紀初めの「卑弥呼共立」によって「新生倭国」＝ヤマト王権は誕生した。考古学の成果と中国史書の精読から導き出された、この国の国家形成史の新しい枠組み。						

書名	古代大和の氏族と社会		著者名	鷺森浩幸／著			
出版社	塙書房	ISBN	978-4-8273-1340-6	本体価格	¥8,500	発売	2023/3/10
内容	①王権および宮・部民、②蘇我氏と物部氏、③氏族とその周辺の三部構成で、主に律令体制の成立以前の大和の歴史的諸事象の解明を目的とし、地域社会の様相を重視する。						

書名	魅力あふれるうるわし古都 奈良へ		著者名	京極祥江／著			
出版社	イカロス出版	ISBN	978-4-8022-1263-2	本体価格	¥1,700	発売	2023/3/10
内容	奈良市内を中心に、斑鳩町(いかるがちょう)、王寺町(おうじちょう)、三郷町(さんごうちょう)、生駒市、明日香村、橿原市今井町(かしはらしいまいちょう)、吉野などのおすすめの見どころ、飲食店、ショップ、宿を紹介します。奈良で人気のかき氷店や、昔から雪駄や下駄作りが盛んな三郷町で、デザイン製の高い雪駄を製造、販売しているお店なども紹介します。						

書名	飛鳥の古代寺院			著者名	清水昭博／著			
出版社	萌書房	ISBN	978-4-86065-161-9	本体価格	¥1,800	発売	2023/3/20	
内容	かつて日本列島の王都であり仏教信仰の中心地でもあった「飛鳥」地方の廃寺を含む18の寺院について古代瓦研究の第一人者がやさしく紹介・解説。							

書名	94歳セツの新聞ちぎり絵日記			著者名	木村 セツ／著			
出版社	里山社	ISBN	978-4-907497-18-7	本体価格	¥1,900	発売	2023/3/22	
内容	奈良県桜井市生まれ、在住の木村セツさん90歳。ツイッターアカウント「90歳セツの新聞ちぎり絵」のフォロワー数はなんと3万人以上。第3弾は2021～2023年1月までの2年間の日記と新作ちぎり絵を収録。一躍時の人となり、世界も大きく変わったこの2年も、セツさんは毎朝仏壇神棚に手を合わせ、ちぎり絵を作り、よく食べ、猫と遊び、まわりに感謝。94歳になっても変わらないルーティンとますますおいしそうなお新聞ちぎり絵にほっとする時間が流れる日記作品集です。							

書名	正倉院のしごと			著者名	西川明彦／著			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102744-3	本体価格	¥900	発売	2023/3/22	
内容	奈良時代、光明皇后が聖武天皇の遺品を東大寺大仏に献納したことに始まる正倉院宝物。落雷や台風、源平合戦や戦国時代の兵火、織田信長やGHQなど時の権力者による開扉要求といった数多くの危機を乗り越えてきた。古墳など土中から出土したのではなく、人々の手で保管されてきた伝世品は世界的にも珍しい。千三百年にわたり宝物を守り伝えてきた正倉院の営みを、保存・修理・調査・模造・公開に分けて紹介する。							

書名	正倉院文書目録九 続々修四			著者名	編集／東京大学史料編纂所			
出版社	東京大学出版会	ISBN	978-4-13-091249-5	本体価格	¥18,000	発売	2023/3/30	
内容	正倉院文書は、総数一万点にのぼる日本古代史研究の基礎となる史料群である。続々修には、正倉院文書の原状を残す箇所が多く、奈良時代の官司組織における文書の作成・利用・保管等に関する豊富なデータが含まれている。							